

## 日本認知症予防学会の果たすべき役割と 日本サルコペニア・フレイル学会との合同シンポジウムへの期待

浦上 克哉

鳥取大学医学部保健学科認知症予防学講座

このたび日本サルコペニア・フレイル学会と合同シンポジウムを初めて開催できますことを日本認知症予防学会代表理事として、とても光栄に思っております。日本サルコペニア・フレイル学会代表理事である荒井秀典先生に感謝致します。日本認知症予防学会は認知症予防を目指しているが、フレイルの中に認知機能の面からコグニティブフレイルという考え方があり、目標を共有できる部分が多いと考えます。日本認知症予防学会は2011年に発足し、認知症予防のエビデンスの創出と普及、専門人材の育成(認知症予防専門士、認定認知症領域検査技師、認知症予防専門医、認知症予防専門看護師、認知症予防専門薬剤師)、多職種協働・地域連携を3本柱に取り組んできました。現在約2,500名の会員数に成長してきているが、認知症患者数からみるとまだまだ十分な会員数とはいえません。学会の会員数を増やすとともに、目標を同じくする学会との連携も重要と考えます。これまで、日本臨床衛生検査技師会、日本薬剤師会などの団体と協力してきましたが、この合同シンポジウムをきっかけとして今後日本サルコペニア・フレイル学会と連携していければと期待しております。